

一般質問一覧表

順番	氏 名	質 問 事 項・質 問 要 旨・答 弁 者
1	伊藤 正実	質問事項 みらい平地区における交通安全対策のためのミラー、信号機、道路標示、注意看板の設置について 質問要旨 ・交通安全対策として、事故防止用のミラーの設置の考え方について。 ・必要な箇所に信号機を設置して、交通のコントロールを行うべきと考えるが、警察への要望はどのように行われているのか。 ・道路標示(横断歩道、停止線、注意喚起のための表示など)や注意看板の設置についても危険回避のための施策を講じるべきである。 以上について、市の考えを伺う。 答弁者 市長
		質問事項 ふるさと納税について 質問要旨 現在の状況と見通しとして ・予算額の達成状況はいかがか。 ・返礼品の状況はいかがか。 答弁者 市長
		質問事項 ネーミングライツ・広告による増収について 質問要旨 現在の状況と見通しとして ・更なるネーミングライツ候補は、どのように考えているか。 ・新たな広告の方法と掲載場所の開発は、どのように考えているか。 答弁者 市長
2	飯村 裕一	質問事項 調整池イノベーションエコシステムについて 質問要旨 本市には、治水機能を担う多くの調整池が整備されているが、これらを雨水流出抑制のための施設としてのみ捉えるのではなく、本来の治水機能を確保することを前提として、平常時における地域資源としての活用についても検討する余地があると考えます。 そこで、本市における調整池の設置状況や管理・活用の現状を踏まえ、公園、地域交流、環境・防災、教育、生物多様性など、多様な機能や価値を持たせることについて、制度面や管理面を含めた課題と可能性をどのように捉えているのか伺う。 あわせて、行政のみならず、地域住民、民間事業者、教育機関など、多様な主体が関わり、調整池を起点として新たな地域価値を創出していく「調整池イノベーションエコシステム」という考え方について、市の見解を伺う。 答弁者 担当部長
		質問事項 ご当地アイドルグループ「忍者MIRAI(仮)」などの新たな地域コンテンツの創出と地域プロモーションについて 質問要旨 本市の交流人口や関係人口の拡大、地域の認知度及び魅力の向上を図るためには、既存の地域資源を活用するだけでなく、新たな観光資源や地域コンテンツを創出し、継続的に育てていく視点も重要であると考えます。 特に「忍者」は、国内外で高い認知度を有し、観光、文化、エンターテインメントなど様々な分野への展開が可能なコンテンツである。また、地域に根差して活動する「ご当地アイドル」についても、イベントや情報発信などを通じて地域への関心を生み出し、人そのものが地域の魅力や観光資源となり得る可能性を持っている。 そこで、忍者とご当地アイドルを組み合わせ、ご当地アイドルグループ「忍者MIRAI(仮)」のような新たな地域コンテンツを含めた、本市における新たな観光資源の創出や市民・民間事業者等と連携した地域プロモーションについて、市の見解を伺う。 答弁者 担当部長
3	吉田 稔之	質問事項 農業経営収入保険制度の普及促進と加入支援について 質問要旨 農業経営収入保険制度は、自然災害や価格低下などによる農業収入の減少を総合的に補償し、農業者の経営リスクを支えるセーフティーネットとして、2019年に創設された制度である。制度開始後は、全国的に、農業共済組合、関係機関が連携し、地域キャラバン等を通じて農業者への説明会を実施するなど、制度周知と加入促進を図ってきた。 そこで、本市における農業経営収入保険制度の普及促進に関し、これまでの取組・対応について伺う。 一方、農業経営収入保険への加入には、青色申告の実績が必要であること、他の農作物共済などと比較すると多額の保険料負担もあるなどの課題も残る。近隣自治体では、農業経営収入保険の加入促進を目的に、支援金制度を設け、保険料の一部を負担しているところもある。本市としても、他自治体の実態調査と併せて、支援金制度の創設について検討すべきと考えますが、市の見解を伺う。 答弁者 担当部長

一般質問一覧表

順番	氏 名	質 問 事 項・質 問 要 旨・答 弁 者
4	岡本 昌弘	質問事項 市職員のボランティア休暇制度(地域貢献活動休暇)の導入について 質問要旨 ・市職員が災害ボランティアや地域の社会福祉活動、あるいは子どもの見守り活動、部活動の地域展開における指導者として活動する際、どのような休暇制度を利用できるのか。あわせて、過去の利用実績と現状の課題認識を伺う。 ・市職員の地域貢献活動を推進するため、正規職員と会計年度任用職員を対象に、1時間単位から取得できる年間5日程度のボランティア休暇制度を導入すべきと考えるが、市の見解を伺う。 答弁者 市長
		質問事項 市民の健康増進と地域コミュニティの活性化に向けた「ピックルボール」の普及促進と環境整備について 質問要旨 ・本市のスポーツ推進におけるピックルボールの位置付けと、市民への普及促進に向けた体験会等の開催について伺う。 ・ピックルボールの活動場所の確保に向けた、既存の公の施設(体育館・テニスコート等)の活用と環境整備について伺う。 ・ピックルボールを単なるスポーツ推進の手段にとどめず、「健康づくり」や「多世代交流・地域コミュニティの活性化」の有効な手段として位置付け、推進していく必要があると考えるが、市の見解を伺う。 答弁者 担当部長
		質問事項 胎児心エコー検査による先天性心疾患の早期発見と妊婦支援の充実について 質問要旨 ・本市の妊婦健診において、先天性心疾患の早期発見につながる専門的な胎児心エコー検査が実施されているのか、その現状を伺う。 ・胎児心エコー検査に対する公費助成を行うことで、妊婦の経済的負担や精神的負担の軽減が期待できると考えるが、市の見解を伺う。 ・赤ちゃんの命を守り、安心して出産できる環境を整えるため、妊婦健診の公費助成の対象に、胎児心エコー検査を追加すること、または市独自の助成制度を創設すべきと考えるが、市の見解を伺う。 答弁者 担当部長
5	小林 芳子	質問事項 公共施設の設備管理について 質問要旨 市内の公共施設では老朽化が進み、設備の故障により、利用停止や休館となる事例が発生している。本年6月に発生した小絹コミュニティセンターの空調故障を契機として、公共施設の維持管理の在り方について伺う。 また、設備の点検方法、更新時期の判断基準、更新の優先順位、故障を未然に防ぐための予防保全策及び計画的な更新の考え方を伺う。 答弁者 担当部長
		質問事項 災害時における避難所環境の改善と広域避難体制の整備について 質問要旨 近年の災害では、猛暑などの気象条件により、避難生活の課題が大きく変化している。令和8年熊本地震の教訓を踏まえ、猛暑時の避難生活を想定した冷却用品等の備蓄品の見直しをはじめ、避難所環境の改善について、市の考えを伺う。 また、避難生活の長期化を見据え、二次避難所の確保や周辺自治体との広域避難体制の整備について伺う。 答弁者 担当部長
		質問事項 コウノトリの飛来を契機とした環境に配慮した農業の推進について 質問要旨 市内の水田にコウノトリが飛来したことは、本市の自然環境や水田環境の改善を示す一つの出来事であると考えられる。これまで、市が取り組んできたネオニコチノイドを含まない農薬への切り替え支援もその一因であると考えられる。 そこで、今後の更なる環境に配慮した農業の推進に向けた取組について伺う。 答弁者 担当部長

一般質問一覧表

順番	氏 名	質 問 事 項・質 問 要 旨・答 弁 者
6	直井 高宏	質問事項 水道施設の更新計画について
		質問要旨 ・近年は、地震だけでなく、集中豪雨による洪水や停電など、様々な災害リスクへの備えが必要とされている。こうした中、水道水の安定供給を確保するため、水道施設の耐震化や水道管のループ化等が重要であると考えているが、本市におけるこれらの実施状況について伺う。
		1 ・水道管のループ化をはじめ、水道施設等の更新には多額の費用を要するが、どのような財源措置があるのか伺う。 ・水道管のループ化が進んでいない地域では、漏水等による断水が発生した場合、地域住民への影響が大きくなることが懸念される。こうした地域における水道管のループ化計画について伺う。
		答弁者 市長・担当部長
		質問事項 橋梁の計画的な維持管理と災害対策について
		質問要旨 ・橋梁の補修・更新について、健全度や利用状況などを踏まえ、どのような基準で優先順位を定めているのか伺う。
		2 ・地震や集中豪雨などの自然災害に備え、橋梁の安全性の確保や道路機能の維持に向け、どのような対策を進めているのか伺う。
		答弁者 担当部長
7	中山 治	質問事項 本市における高齢化の現状と地域公共交通の在り方について
		質問要旨 ・本市の高齢化の現状及びコミュニティバス「みらい号」・デマンド乗合タクシー「みらいくん」の利用状況について伺う。
		1 ・コミュニティバス等の運行本数や利便性に係る課題、特に高齢者の日常生活に必要な移動手段の確保について、市の考えを伺う。 ・他自治体の先進事例を踏まえ、デマンド型交通の拡充など、移動手段の確保に向けた今後の施策について、市の考えを伺う。
		答弁者 担当部長
8	中島 督仁	質問事項 職員が働きやすい職場環境づくりについて
		質問要旨 近年、最低賃金の引上げや働き方改革、ハラスメント対策の強化など、職場環境を取り巻く状況は大きく変化している。そこで、本市における職員の働き方について、時間外勤務や離職状況など、その現状を伺う。
		1 また、職員が安心して長く働ける職場環境を整備することにより、人材の確保・定着や業務の効率化などが期待でき、市民サービスの向上にもつながると考えるが、職員が働きやすい環境づくりについて、市の見解及び今後の取組を伺う。
		答弁者 担当部長

一般質問一覧表

順番	氏 名	質 問 事 項・質 問 要 旨・答 弁 者
9	本間真由美	質問事項 放課後児童クラブ利用要件の見直しについて 質問要旨 令和7年第3回定例会において、放課後児童クラブの入級対象者の拡大について質問した際、「育児休業中の利用については、近隣自治体の事例や取組等を参考に調査研究する」との答弁があった。その後、本年6月の読売新聞の報道等により、いわゆる「育休退所」の問題が浮き彫りとなった。これを受け、こども家庭庁は、令和8年6月29日付けの事務連絡において、児童福祉法における「労働等」には「保護者が育児休業中の場合等を含められる」との見解を示した。 この事務連絡を踏まえ、本市における放課後児童クラブの利用要件について、今後どのように対応していくのか伺う。 答弁者 担当部長
		質問事項 認可保育施設の入所手続きの改善及び海外在住児童の一時帰国を含む里帰り児の受入支援体制の充実について 質問要旨 本市では共働き世帯の増加に伴い、年間を通じて高い保育ニーズが生じている。現在、年度途中における認可保育施設の入所受付は、入所希望日の約2か月前に行われている。保護者からは「復職直前まで内定が出ず、職場復帰までに入所できるか分からず不安が大きい」といった切実な声が寄せられている。 そこで、保護者の不安解消と円滑な職場復帰を支援するため、年度途中における入所手続きの改善について、市の見解を伺う。 また、産前産後の妊産婦の負担軽減等を目的とした「里帰り児」の受入状況について伺う。あわせて、海外在住児童が一時帰国した際の一時預かりについて、その現状を伺うとともに、海外在住児童と地域児童との相互交流や多文化共生を推進する観点から、受入枠の確保及び手続きの柔軟化等、受入支援体制の充実が必要であると考えているが、市の見解を伺う。 答弁者 担当部長
		質問事項 「みらいりんどう」の使用申請手続きの電子化と活用推進について 質問要旨 本市の魅力発信や広報活動を担う市公式イメージキャラクター「みらいりんどう」を派遣する際や、またイラスト等を使用する際は、申請を行い、承認を受けることで、市民や事業者等も活用することができるが、現状では使用に関する周知不足や申請手続きにおける電子申請の未整備といった課題が見受けられる。そこで、現在の使用状況及び周知方法について伺う。 また、「みらいりんどう」を、より多くの市民や事業者等に使用していただくことで、それぞれが本市の魅力発信役となり、更なるシティプロモーションの推進にもつながり好循環が生まれると考えるが、今後の「みらいりんどう」の活用推進について、申請手続きの電子化も含め、市の見解を伺う。 答弁者 担当部長
10	古川よし枝	質問事項 国民健康保険事業について 質問要旨 ・国民健康保険制度は、平成30年度から都道府県が財政運営の責任主体となった。国民健康保険税の算定方式については、市町村に裁量があり、本市では所得割と均等割の2方式を採用しているが、近い将来予定されている県内の保険料水準の統一を見据え、急な負担増とならないよう、令和7年度から4年間をかけて段階的に税率を引き上げる計画としている。県内の保険料水準が統一された場合、本市の保険税は引上げとなるのか、その時期はいつ頃なのか。 ・国民健康保険税を滞納し、特別療養費の対象となった場合には、「資格確認書(特別療養)」が交付され、医療費を一旦全額負担することとなるが、マイナ保険証を使用している被保険者については、どのような対応となるのか。 ・国は、令和9年度から、子どもの均等割保険税に対する軽減措置(5割軽減)の対象を、これまでの未就学児から高校生年代まで拡充する方針だが、子育て世帯の負担軽減を更に図るため、子どもの保険税をゼロとするよう市の対応を求めるがどうか。 答弁者 市長・担当部長
		質問事項 高齢者の補聴器購入費への助成について 質問要旨 ・これまで数回にわたり、高齢者の補聴器購入費への助成を求めてきた。直近では、令和6年9月の一般質問において、市の考え方を伺った。当時、県内では10市町村が高齢者の補聴器購入費への助成を実施していたが、今年4月時点では17市町村に増えており、県内でも助成制度を導入する自治体が増えている。そこで、第10期介護保険事業計画に位置付け、認知症予防対策の一つとして補聴器の助成制度に取り組むべきと考えるが、市の見解を伺う。 ・前回の一般質問では、第9期介護保険事業計画の策定に当たり実施した「聞こえに関する調査」で、14.3%の方が「言葉が聞こえにくい」という不安を持っているという結果が示された。一方で、「補聴器の必要性を感じていない」、「調整が煩わしい」などの理由から継続的な装着に至らないケースもあるため、市独自の助成制度ではなく、国の制度として創設すべきであり、国の動向を注視するという市の見解だった。その後の県内での状況を踏まえ、市の考え方に変化があるのか伺う。 答弁者 市長・担当部長
		答弁者 市長・担当部長

一般質問一覧表

順番	氏 名	質 問 事 項・質 問 要 旨・答 弁 者
11	マクキム洋子	質問事項 地域公共交通について 質問要旨 ・コミュニティバス及びデマンド乗合タクシーについて、これまでの利用状況と令和5年3月に策定した地域公共交通計画に掲げる目標の達成状況を伺う。また、令和6年4月に実施したコミュニティバスのルート及びダイヤ変更による利用者数の推移と現在の地域公共交通に対する市の評価を伺う。 ・地域公共交通の利便性を更に高める上で、市が認識している課題と市民の移動ニーズの把握方法について伺う。また、利便性向上に向けた取組について、どのような指標により、効果検証しているのか伺う。 ・今後の地域公共交通について、単に利用者数を増やすだけでなく、市民が「使いやすい」「使いたい」と感じ、日常の移動手段として選ばれる公共交通を目指すべきと考えるが、市はどのような取組を進めていくのか伺う。
		答弁者 担当部長
		質問事項 地域防犯活動を支える行政の役割について 質問要旨 本市の防犯を取り巻く現状と、地域で行われている防犯活動及び市が実施している防犯対策を踏まえ、地域の安全を支えている防犯活動の担い手が将来にわたって継続して活動できる環境をどのように整えていくのか伺う。 2 また、地域防犯活動における担い手不足や高齢化などの課題に対し、市としてどのような支援が必要と認識しているのか伺う。 さらに、警察や地域の関係団体と連携し、地域と行政が一体となって防犯活動を推進するため、今後どのような取組を実施するのか、行政の役割を含め、市の見解を伺う。
		答弁者 担当部長
		質問事項 公共施設包括管理事業の運用状況と今後の課題について 質問要旨 ・令和7年4月に導入された公共施設包括管理業務委託について、1年目の成果と現状を伺う。 ・小絹コミュニティセンターの空調設備故障による長期休館を教訓とし、故障の未然防止や修繕手続きの迅速化、突発的な休館時における市民への確実な情報伝達体制の強化策を伺う。 3 ・事業者の専門知識やノウハウを活用した施設の維持管理体制の強化と近隣自治体等における盗難事例を踏まえた公共施設の防犯対策について、今後どのような取組を進めていくのか伺う。
		答弁者 担当部長

通告議員11人 質問24問